簡易吹付法枠協会新工法技術発表会

環境保全の工法学ぶ

国土環境連合会・簡易吹付法枠協会主催の「新工法技術発表会」が15日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで開かれ、国土保全と自然環境を重視した新工法などを学んだ。

初めに主催者を代表して同協会九州支部の常藤晃司幹事が「ヒートアイランド対策工法として、全国的に環境保全重視の流れになっている。従来の技術だけでなく自然生態系保全を重視した工法が求められている。時代にマッチし、地域の特性を生かした安くて質の高い新工法を取り入れ、地域社会に貢献していかなければならない」などと挨拶した。

その後、和歌山大学システム工学部の養父志乃夫教授が「地球環境に配慮した緑の創出」の演題で特別講演を行い「緑化を進めることは必要だが、環境を保護することが前提でなければならない。無意味なコスト削減はやめ、生態系の構造を理解する必要がある」などとアドバイスした。引き続きマザーソイル協会の小畑秀弘技術士、国土環境緑化協会の谷口伸二技術委員長らが型枠不要の吹付法枠工法や表土シードバンク活用緑化工法、環境配慮型緑化工法をそれぞれ紹介した。

環境の保護を前提にした開発を――と訴える養父教授＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

建災防川内分会 刈払機取扱い講習

安全な作業方法指導

建災防県支部川内分会（田代藤夫分会長）は14日、薩摩川内市の川内建設会館で刈払機取扱い作業者特別教育講習を開催。同分会と宮之城分会の社員62人が受講した。講師は太田機工㈱（薩摩川内市）派遣の村上伸昭氏（刈払機メーカー・㈱岡山農栄社）。

上山孝一太田機工㈱常務が「事故があれば会社、家庭すべてに損害を与えることになります。安全で正しい作業方法を習得し、受講の成果を今後の安全作業に役立ててください」と挨拶。

村上講師は安全作業するための順守事項や使用準備の手順、エンジンの始動・停止、作業後の手入れ等について実機を使いながら講義。学科講習の後、同市天辰町の川内川堤防で安全で正しい刈払い作業方法等を実施指導した。受講修了者には川内分会長名の修了書が交付された。

真剣に講義を受講する参加者＝薩摩川内市の川内建設会館で

鹿児島国道指宿維持出張所管内安全大会

労働災害ゼロを誓う

全大会が15日、鹿児島市の道の駅喜入で行われた。同出張所発注の工事受注業者4社から参加した45人は、安全管理体制などを充実し労働災害ゼロを目指すことを誓い合った。

大会では、松元政照同出張所長が「工事現場で予想される危険の所在や要因」について安全講話を実施。この中で松元所長は、公衆災害や労働災害関係などの事例を挙げ「安全の先取り活動の一環としてKYT活動などを活用し、危険を排除してほしい」などと呼び掛けた。

このほか、㈱エヌ・ティ・ティネオメイト南九州の小濵三郎氏による地下埋設物に関する講習、㈱加賀組の中野朋之現場代理人によるビデオ講習や事故事例に学ぶ危険予知なども行われ、参加者は労災撲滅に対する気持ちを新たにした大会

労災撲滅に対する気持ちを新たにした大会＝鹿児島市の道の駅喜入で

指宿維持出張所管内安全大会

出水共同高等職業訓練校 入校式

19人が技術習得へ

出水共同高等職業訓練校（吉満重人校長）は14日、野田町の同校で雇用・能力開発機構鹿児島セ

入校式で挨拶する吉満校長＝野田町の出水共同高等職業訓練校

て訓練生19人の造園技術科入校式を開いた。

吉満校長は「入校を心から歓迎します。自分が選んだ道です。技術習得に励み、講師の先生を信頼し最後まで目的を達成して頂きたい」と歓迎の挨拶をした。

小城守同センター委託訓練係長の挨拶の後、樋口守副校長が、大重秋男出水地区職業訓練協会長はじめ同科講師の天辰直志氏、小山節男氏、西島浩氏、有村利雄氏の講師陣を紹介。「最後まで一緒にがんばりましょう」と歓迎した。訓練

県エネ開発協会技術講習会

新エネ市場動向を詳説

県エネルギー開発協会（今別府英樹会長、9社）は14日、鹿児島市の同協会会議室で「第1回技術講習会」を開き、新エネルギーとして注目される太陽光発電や風力発電などの市場動向やシステムの導入による優遇税制の利用法などを学んだ。

この日は、シャープアメニティシステム㈱（大阪市）の山崎昌平氏が講師を務め、まず新エネルギーの定義について紹介。「技術的には実用段階ではあるが、経済性の面での制約から普及が十分でないものがある。石油に代わる新エネルギーとして注目される太陽光・風力発電の技術向上とともに、今後の普及拡大が重要なポイントとなる」などと語った。

また、システム導入により①地球環境保全への貢献②資源エネルギーの保護③企業イメージの高揚④環境意識への啓発⑤省エネ法への適用⑥創エネルギー⑦デマンド抑制⑧国の補助の適用⑨優遇税制などのメリットがあることなどを紹介した。

講習会後は、7月定例会が開かれ17年度陳情の結果報告などがされた。

システム導入のメリットを紹介する山崎氏＝鹿児島市の県エネルギー開発協会で

指宿市廃置分合決定書交付式

来年1月1日の新設合併へ

指宿市、山川町、開聞町の1市2町は15日、鹿児島市の県庁で18年1月1日の新設合併し「指宿市」を発足させる同市に対し廃置分合決定書が伊藤祐一郎県知事から手渡された。

決定書交付式では、指宿市長、山川町長、開聞町長のほか、特別立会人も同席し伊藤県知事から決定書が交付された。新しく誕生する新市「指宿市」は人口約4万8750人（H12年国勢調査）、面積約148・97㎢。事務所は現在の指宿市役所を本庁とし、旧市町の区域ごとに地域審議会を設置する。

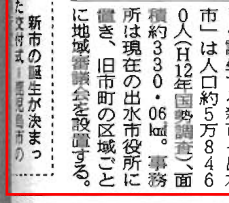
新市の誕生が決まった交付式＝鹿児島市の県庁で

出水市廃置分合決定書交付式

来年3月13日の合併へ前進

出水市、野田町、高尾野町の1市2町は15日、18年3月13日に新設合併で「出水市」としてスタートさせることから、鹿児島市の県庁で伊藤祐一郎県知事から廃置分合決定書が手渡された。

決定書交付式では、出水市長、野田町長、高尾野町長のほか、特別立会人も同席し伊藤県知事から決定書が交付された。新しく誕生する新市「出水市」は人口約5万8460人（H12年国勢調査）、面積約330・06㎢。事務所は現在の出水市役所に置き、旧市町の区域ごとに地域審議会を設置する。



新市の誕生が決まった交付式＝鹿児島市の

平成17年度版 ――この一冊で、今年の県内工事計画がわかる――
公共事業予算総覧
●定価 8,000円（消費税・送料別）
■お問い合せお申し込みは
株式会社 鹿児島建設新聞
鹿児島市錦江町3番36号
☎099-227-5100 FAX 225-1919